

滝沢市 I P U イノベーションパーク運営計画の概要

【整備計画の進捗状況】

□ 概略

滝沢市イノベーションパークについては、滝沢市、岩手県立大学及び岩手県が平成 21 年 3 月に整備計画を策定し、支援機能の整備を進めるとともに関係機関とも連携を図りながら、I T 関連企業の誘致や産学官連携による研究開発の支援、高度技術研修による人材育成などの取組を進めてきており、I T 関連企業の一大集積拠点となっている。

□ 支援機能の整備状況と取組成果

1 集積機能

整備状況（企業入居施設）	入居状況
・アパート形式貸し研究棟 2 棟：21 室（残 1 室）	・入居企業数：22 社（貸研究室 19 社、シェアデスク 3 社） ・業種等：I T 関係 17 社、県外 16 社 ・従業者数：148 人（県立大学 24 名雇用）
・企業立地区画：6 区画	・未入居
・戸建て貸し工房：見送り（貸し研究棟追加）	—

2 連携・交流機能

整備状況	連携・交流状況
連携機能 ・一元的窓口設置、専任職員配置（コーディネート機能） ・i-MOS 設置（研究開発支援機能） ・取引あっせん	・共同研究数 33 件（県大 23 件、滝沢市 10 件） うち滝沢市支援件数 10 件（県大共同研究支援） ※全国販売の製品システムの成果も出ている。 ・首都圏企業との商談会開催への参加など
交流機能 ・多目的ホール整備	滝沢市 IPU イノベーションフォーラムの開催など、 関係機関と連携し活発に産学官民の交流を実施

3 人材育成機能

整備状況	人材育成の状況
・県立大学の一部授業開放（入居企業） ・高度技術者養成講習会の開催 ・地域の小中学性へのプログラミング教室の開催	・ソフトウェア情報学部のゼミや PBL への参加 ・ものづくりとソフトウェアの融合技術者の育成 ・国際プログラミングコンテストで 3 年連続受賞

□ 整備目標とその達成状況

	目標	達成状況
短期的な目標（概ね 5 年以内）	入居企業数：10 社	入居企業数：15 社
中長期的な目標（概ね 10 年以内）	入居企業数：15 社（累計）	入居企業数：22 社（累計）
長期的な目標（概ね 10 年以上）	パークの拡張	—

□ 入居企業のアンケート調査結果

実施日：平成 28 年 9 月

回収率：63.6%（14 社/22 社）

アンケート結果の概要	入居企業の課題
・「売上高」や「利益額」が増加している企業が多い ・パーク内への 2 次展開を候補とする企業が 4 社 ・大学との連携では、「研究開発」「学生活用」「イベント連携」を実施したい意向が強い ・「飲食店」「コンビニ」へのニーズが多い	・「人材の確保」をあげる企業が多く、人材の確保・定着の取組の強化が必要。 ・入居企業の更なる成長を促進していくため、支援機能を活かした成長モデルの構築が必要。 ・利便性施設は、まちづくりの観点を含め検討していく必要。

□ 取巻く環境の変化とパークの運営課題

取巻く環境の変化	パークの運営課題
○ I O T の進展 I O T による革新が、ものづくり、医療・福祉、農林水産などあらゆる産業への浸透や活用が期待 ○ 人口減少社会の進展 生産性や付加価値向上の取組強化が重要 人材の確保や地元定着が急務	1 企業立地区画等への立地促進 入居企業の 2 次展開促進、新規立地の促進 2 集積を活かした相乗効果の創出 産学官民の連携・交流の促進、I O T の進展を踏まえ、各産業等との連携・交流促進 3 パークを活用した企業の成長モデルの創出 人材の育成・確保の仕組みや支援機能の拡充など、効果的な支援策を研究

【今後のパーク運営方針】

■ 基本的な考え方

- ・企業立地区画などへの立地を促進し更なる「集積形成」を図る。
- ・産学官民の連携による一層の「集積活用」を図り、地域産業の競争力を強化する開発拠点性を高める。

■ 入居・立地対象企業の拡大

これまでの I T 関連産業に加え、県立大学やパーク入居企業などと連携して I O T などの開発に取り組もうとする企業で、ものづくり、医療・福祉、環境、農林水産など各産業を広く対象とする。
なお、パークの利便性向上を図る施設については、まちづくりやパークの機能向上の観点から導入判断する。

■ 目標と期間

目標 集積形成：入居企業のパーク内への 2 次展開促進と各産業分野を対象とした新規企業の誘致
企業立地区画等への入居企業 2 社

集積活用：相乗効果を生み出す産学官民との連携等の促進と人材の育成確保支援、研究開発プロジェクトの形成
研究開発プロジェクト件数 2 件

期間 概ね 5 年間

■ 役割と取組

パーク運営協議会の参画メンバーにより集積形成及び集積活用のチームを形成し、目標の実現に向け、関係機関と連携しながら取組を推進。

ア 集積形成

集積形成チームについては、パークの整備・運営を担う滝沢市が主導し、取組を進める。

① 入居促進

- ・企業立地区画への立地の動きあるなどの入居企業については、実現に向けた支援や取組を進める。
- ・新規立地の誘致については、I T 関連産業を含め、各産業に対しても産学官交流イベントでの周知や企業訪問、専用サイトでの情報発信などに取り組む。

② 貸し工房等の整備

民間デベロッパーによるリース方式や利便性向上施設との共同建設など、民間活力の導入を視野。

イ 集積活用

集積活用チームについては、研究開発や人材育成など入居企業との産学官連携に取り組む県立大学が主導（①は滝沢市主導）し、取組を進める。

① 産学官民との連携・交流

I T 産業集積が相乗効果を生み出すよう、産学官交流や異業種交流、地域との交流などに取り組む。

② 産学官連携コーディネートによる研究開発プロジェクトの形成

国等の外部研究資金の獲得を目指した産学官連携の研究開発プロジェクト形成などのコーディネート

③ 技術人材の育成と確保等の支援

高度技術者育成研修、県立大学の学生演習（PBL）や E T ロボコンなどでの入居企業と学生との交流を促進、奨学金返還支援制度の周知